



## 「あくび」をすると、なぜ耳が遠くなるの

### 顔の筋肉がきん張するのが原因

「あくび」をするときには、大きく口をあけ、大きな呼吸をします。

そのとき、あごについている筋肉や、顔にあるいろいろな筋肉が、いっせいに大きくきん張します。

### こまぐが外へとびだすのが原因

耳の奥には「こまぐ」があり、わたしたちは、このこまぐのしん動で、音を聞いています。こまぐの内がわには、空気の入った小さな部屋があり、口のほうへ細い管でつながっています。

ふだんは、音が耳にとどくと、こまぐがしん動して、音が聞こえるのですが、あくびをしたときには、顔の筋肉がきん張して、その小さな部屋の空気がおされ、圧力が高くなります。そのため、こまぐが外へふくらんだような状態になり、音がとどいても、よくしん動しないため、耳が遠くなるように感じるのです。（監修・保志 宏）

